

平成20年度第2回北海道農政事務所入札等監視委員会審議概要

開催日及び場所	平成20年8月28日(木) 北海道農政事務所5階会議室	
委員	阿座上 洋吉(経済研究所代表)、奈良 顕子(設計会社代表)、 山林 弘(建設保証会社参事) <五十音順>	
審議対象期間	平成20年4月1日～平成20年6月30日	
抽出案件	4件 (総件数17件 内訳：物品・役務等17件)	
【物品・役務等】 一般競争入札	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道農政事務所物品運送業務 ・ パーソナルコンピュータ賃貸借(国庫債務負担行為) ・ 貨客兼用小型自動車の交換購入
随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ LAN用パソコン等(平成16年度下期導入)の賃貸借及び保守
委員からの意見・質問、それに対する回答等	質 問 ・ 意 見	回 答
	別紙のとおり	
委員会による意見の具申又は勧告の内容。	・ な し	

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【入札・契約手続の運用状況等に関する報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入札・契約手続の状況 ○ 随意契約の見直しについて、今後の見直しはどうか。 ・ 指名停止等の措置状況 <p>【抽出事案の審議】</p> <p>1. 北海道農政事務所物品運送業務</p> <p>○ 落札率が低い結果となっているが何か原因は推測されるか。</p> <p>2. パーソナルコンピュータ賃貸借</p> <p>○ 4者からの照会があつて結果的に2者応札となったが、入札説明書の問い合わせや、その他の業者からは予定数量等に対しての照会があつたのか。</p> <p>3. 貨客兼用小型自動車等の交換購入</p> <p>○ メーカー希望価格はあるのか。予定価格についてはどのようにして決定したのか。</p> <p>○ この仕様に対する販売業者は沢山あるのか。</p> <p>○ 類似車種であっても各メーカーによって価格やグレードが違い、価格差がある中で価格だけで競争入札をおこなっても一番低いところで落ち着いてしまい、結果、他の業者があつても価格競争だけでは最初から結果が見えている。</p> <p>○ 客観的評価価値が違うものを競争で行うと結果が見えており、性能等を考慮して随意契約で</p>	<p>● これまでも随意契約から一般競争入札へ移行可能な契約については、適正な競争性の確保等の観点から見直しを行っている。</p> <p>(質問・意見なし)</p> <p>● 予定価格は平成18年・19年度の契約実績や実勢価格等を総合的に勘案し積算している。</p> <p>また、過去の契約実績や企業努力があつたと考える。</p> <p>● 入札説明書を取りに来た4者以外からの照会はなかった。</p> <p>● メーカー希望価格は把握していないが、予定価格は、過去の購入実績等を基に積算している。</p> <p>● 昨年度の入札では、3者の応札があつた。(本年度2者)</p> <p>● 仕様書で構造等を示し、仕様書に該当する自動車として入札を行っている。</p>

行うという方法も考えられる。また、随意契約の場合は事後のチェックを厳しく対応できる態勢を整えればよいのではないかと考える。

随意契約不可とすること自体が問題であり、国の予算効率的運用方法の一つとして、随意契約も必要ではないかと考える。

4. LAN用パソコン等(平成16年度下期導入)の賃貸借及び保守

(質問・意見なし)